

大崎出張所にて高校生のインターンシップを実施しました。

10月8日から小牛田農林高等学校農業技術科農業土木コース2年生3名、10月16日から古川工業高等学校土木情報科2年生4名の皆さんがそれぞれ3日間、インターンシップとして大崎出張所に来訪されました。

東日本大震災や台風19号関連の復旧事業等、北上川下流河川事務所の主要授業の説明・見学に始まり、大崎出張所管内の維持工事を担当している北上川下流河川大崎管内維持工事((株)金原土建)・北上川下流河川鳴瀬川大崎管内維持工事(丸か建設(株))の協力のもとで堤防除草などの現場実習を行ったり、江合川の洪水調節を実施している鳴子ダム管理所では現地説明・ボート搭乗体験、新江合川にて堤防徒歩巡視体験、最後に若手職員との懇談会といった幅広いメニューに取り組んでいただきました。

短い期間ながらも意欲的に取り組んでいただけたため、よい経験になれたかと思えます。今回のインターンシップにより、将来の選択肢が広がるきっかけになることを祈っております。

(小牛田農林高等学校のみなさん)



【石巻かわまち事業(日和山より)】



【河川維持工事(遠隔除草機械)】



【鳴子ダム(内部見学)】

(古川工業高等学校のみなさん)



【事業概要説明(北上川下流河川事務所)】



【河川維持工事(土のうづくり)】



【鳴子ダム(湖上巡視)】

許可工作物(樋門・樋管等)点検を実施しました

河川には水門や堰などたくさんの工作物があります。毎年1回、工作物の設置者と河川管理者が合同で、工作物が適切に管理されているか点検を行っています。

今年は4月の橋梁点検に続き、11月に樋門・樋管点検を行いました。ゲートの開閉に問題がないか、工作物にひび割れなど損傷がないかなどを確認しました。問題があれば補修を行うようにしています。



水門等水位観測員講習会 (inパレット大崎)

水害から地域を守る水門等の操作講習会を、10月24日に大崎市内にて開催しました。

大崎出張所管内からは約50名の観測員のみなさまが参加され、洪水時の対応やゲート操作の注意点などについて再確認し、さらなる防災意識向上を図りました。

「水門等水位観測員」は洪水時等において、堤防に設置されている樋管や排水機場等のゲート操作を行い、河川から住宅地等への洪水の逆流を防ぐなど、地域の安全安心を守る重要な役割を担っています！

今年も延べ53箇所でお出動いただきました。

地域の安全安心へご尽力いただき、誠にありがとうございます。



一年間、河川維持管理にご理解とご協力いただき、ありがとうございました。2025年も引き続きよろしくお願いたします。

大崎出張所一同